

参考資料

麒麟のまち関西情報発信拠点管理運営事業 事業場所位置図



鳥取市

事業目的

鳥取市と周辺6町から組織する「麒麟のまち」の優れた歴史文化、観光資源等を主要商圏である関西圏へ効果的に情報発信するための拠点施設の整備。

本施設を麒麟のまちの旗艦店と位置づけ、様々なプロモーション活動を展開し、**「麒麟のまちブランド」を構築させ、観光誘客・移住定住の促進、地元産品の販路拡大を目指します。**

ターゲット

本施設の利用者となる
都会のビジネスパーソン

「麒麟のまち」とは？

1650年の発祥以来、因幡地方や但馬地方で受け継がれており、一部は各県の無形民俗文化財にも指定されている麒麟獅子。麒麟獅子に嗜んでらうと、一年無病息災で過ごせるという言い伝えがあります。麒麟のまちは鳥取県東部及び兵庫北但西部の1市6町（鳥取市、石美市、若桜町、智頭町、八頭町、香美町及び新温泉町）から構成されており、石美市や新温泉町の温泉、智頭町の杉、八頭町の柿など豊かな海、山、きれいな空気が生み出す魅力的な資源と清浄な雰囲気が生み出す「暮らしやすさ」をもつまちです。

上記の「麒麟のまち」の歴史的背景及び文化的イメージを理解し、事業目的及びターゲットを考慮した上で、コンセプトを立案いたします。

コンセプト

五感で伝える「麒麟のまち」魅力発信

魅る。味わう。感じる。

魅る

「麒麟のまち」の世界観を木のぬくもりを感じる杉材を使用した内装と麒麟獅子をイメージさせる朱の長暖簾で表現。ひとたび店舗に入ると食材や物販含め360度麒麟のまちの世界へ誘います。

味わう

入り口では色とりどりの食材を魅せ店内に誘引した先には物販ブースがある導線で地元産品をアピールします。また彩り豊かな食材を味わいながら店内のモニターや物産品が導線上にあり常に情報が伝わる仕掛けを行います。

感じる

随所で麒麟のまちの世界観を感じ、プロジェクト活動に寄与するプロジェクトなどの仕掛けを用意。他にも情報発信できるスペースを導線上に作り来店されたすべてのお客様へ観光誘致・移住定住促進を目指します。

※魅るとは、お客様が「見る」こと、「魅せる/演出する」の2つの想いを込めた造語です。

